

公表日

2025年3月20日

事業所名

こばんはうすさくら 春日部駅前教室

保護者等数(児童数) 20名

回収数 17件(割合85%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1			広い教室と広い遊ぶスペースが良いと思う	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16			1	良い先生がたくさんいると思う	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	16	1			もう少し個別の部屋などがあるといいかもし分かりやすい環境だと思う	パーテーションなどで区切って工夫してスペースを確保したい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17				いつもきれいだと思う 清潔な環境だと思う	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	17				多くの相談を受けてもらえ、良いアドバイスもいただいている	職員間で共有をして安心できる教室を作りたい
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	17				子どもの特性をしっかりと理解をして計画の作成をしてもらっている	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1			色々な視点で取り組んでくれている	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1			様々な課題があり、うちの子に合ったものに取り組んでいる	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1			毎日いろいろとしていて楽しそう	様々なプログラムを提供していきたい
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2		5	うちの子が幼稚園に行っていて交流はあると思う	イベントなど一緒にできることがあればしていきたい
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17				今までとこれからを話してくれて分かりやすい	
保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17				細かい説明で分かりやすい	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	2	3	あまり印象がない	これから計画実行にうつしていきたい
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17				日々の様子を連絡帳に細かく書いていただきとても分かりやすい	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1			色々なことを気にかけていただいている	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1			親の立場になって様々なアドバイスをしてくださいます	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	3	4	運動会やクリスマス会があり、兄弟も参加して楽しめてうれしい	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17				相談の良い場になつて心強く思います	

保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17			HUGのアプリを活用して写真がいただけてうれしい	これからも多く写真を活用してお知らせする
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16		1	活動記録など分かりやすい	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	3	2	玄関に貼られているのは見た事がある	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2	2	何か月かに1回避難訓練をしている	様々な災害を想定しての避難訓練を行っている
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2	1	遊ぶスペースに柱がある事は気になった	子どもが柱にぶつからないように職員の位置を考えていく
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16		1	熱やケガの時に電話をしていただいている	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17			楽しい様子でいつも行っている 教室からの連絡も丁寧	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	1		自分で用意して張り切って行っている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17			いつも丁寧にして下さってとても安心している	

## 公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日

2025年3月20日

事業所名

こばんはうすさくら 春日部駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	6	退職者が出て利用者と職員数が合っていないと感じる	求人を出して対応する
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	4	トイレに子ども用の違う足場があると良い	購入を検討
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	1		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	4	音に敏感な子が集中してできるように部屋を使い分けている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	4		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	6	ご意見をいただき出来ることと出来ないとの差が難しい	出来る範囲で対応し、場合によっては他教室との合流も検討
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	4		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	8		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	10	2		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	4	会議の上、作成できていると思う	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	2	保護者との報告は密であると思う	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	6	職員数が足りなくて難しい場合が時々ある	時間の使い方などを工夫して取り組んでいく 職員を増やすことを検討
	14	0	10	2	話し合いが多く日々の出来事が話しやすい	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	2		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	4	日々の職員同士の話し合いからその日の方向を決められる	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		季節に合わせてのプログラムを用意できている	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12		音楽に合わせて踊るなど同じ空間で楽しめている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	10	その日では無いが、時間のある時に話し合いは出来ている	まとまった時間でお互いの話し合いをしていく

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	1		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	2		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	3	連携の難しい部分がある	まずは他事業所と関わっていきたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12			
関係機関や保護者との連携	(28~30は、センターのみ回答)					
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)					
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	7	5	難しいと思う	児童施設との交流は難しいところがある
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特レーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	4	少し教室のルールなどを理解してもらいたい 協力してもらう事も必要に思う時がある	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	3	契約は分からないがしていると思う	契約書に則って説明をしている
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	1		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		電話や帰りの送迎の対面時に 行なっている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	7	土日にも出来れば良いと思う事がある	職員数の確保から初めて すすめていきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	1		職員の休みなどもあるが 可能な限り対応をしていきたい
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	6		更新を定期的に行う
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	2		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	4		様々な職員が試行錯誤をして 子どもに関わっている
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	10		

	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	5		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	2		
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	2		職員全員に周知して間違いのないようにしている
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12			職員全員に周知して間違いのないようにしている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	4		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	6		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	2		日々気付いたことをこれからも職員間で共有していく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12			研修への参加
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12			出来る限りの身体拘束はしないように職員全員で研修に参加している